

1 園目標

<p>健康な子</p> <p>意欲的に遊ぶ子</p> <p>自分の思いをしっかりとし、自分を表現できる子</p> <p>仲間を大切にする子</p>

2 今年度の主な取組内容や園児の様子

重点的な取組	状況
生活づくり	園児が主体的な生活を送れるように、生活リズムを整えていくことの大切さを保護者にも働きかけ、家庭と連携しながらすすめてきました。また、身の回りのことを見通しを持って自分で行えるよう丁寧に指導してきました。生活の中で『できる』を増やすことは自尊感情を高めていくことにもなりました。
身体づくり	栄養三食表を意識してバランスよく食べることの大切さを園児にわかりやすく伝え、興味を持てるようにしてきました。 看護師による園児への保健指導を定期的に行い、健康で清潔に過ごせるようにしました。 異年齢クラスでリズム遊び交流を行い、身体を動かす楽しさを体験して身体づくりをしてきました。 乳児は発達に応じて部屋の環境を整え、全身を使って遊べる工夫をしました。
職員の資質向上	全職員で全園児の様子を確認しあい、手立てや工夫を共有して保育してきました。 研修や学習の場で得たことを職員間での理解とし、保育をすすめてきました。職員一人ひとりの気づきを大事にし、情報を共有することで怪我や事故防止に努めました。 食育について園内研修を行い学びあいました。確認し合った事柄を『発達の表』作成にまとめました。

3 今後の取組

重点的な取組	内容
生活づくり	家庭と保育園が連携をし、園児にとって意欲的に活動できる生活リズムを作っていきます。年齢によりつけておきたい力を、園児が獲得していくために丁寧な指導をしていきます。園児が主体的に活動することを援助します。
身体づくり	保育園の生活の中で全身を使う機会を増やし、やってみたい気持ちを育て、運動機能を高めていきます。身体を使って楽しく遊べるような、部屋環境を工夫します。 園児が安心安全に遊べるように、園舎などの点検を行い、発達や年齢に合った遊具、おもちゃで遊ぶことができるようにします。
職員の資質向上	引き続き安心安全な保育環境を設定するために、職員間での気づきを大切に、検証しあいます。全職員で、保育の充実を図ります。指導計画を作成するにあたって、学習や研修を行い、園児の姿を確認します。